



## 技術者継続教育機構創立 20 周年記念シンポジウム 「新時代の農業農村工学技術者育成に求められる連携のあり方」 —開催概要報告—

農業農村工学会継続教育部

### 1. はじめに

(公社)農業農村工学会技術者継続教育機構(以下、「CPD 機構」という)は、2002 年 1 月 29 日に農業土木技術者継続教育機構として創立し、以来、多くの方々のご理解とご協力、また技術力向上への熱意に支えられ、本年、20 年の節目を迎えることができました。

創立 20 周年を記念し、CPD 機構では 2022 年 8 月 31 日に 2022 年度農業農村工学会大会講演会会場(石川県地場産業振興センター)において「新時代の農業農村工学技術者育成に求められる連携のあり方」をテーマにシンポジウムを開催しました。会場とオンラインを合わせて約 100 名が参加する中で、技術者育成を推進する各機関から活動の現状、制度上の課題や今後のあり方について講演を頂き、パネルディスカッションではそれらの課題の解決方法のほか、新時代に向けて JABEE と技術士制度の連携の必要性についても踏み込んだ議論がありました。

### 2. 開会・来賓挨拶

開会に当たり平松会長は「農業農村工学会は、2002 年に CPD 制度の運用を開始すると同時に、1999 年度に設立された日本技術者教育認定機構(以下、「JABEE」という)にも参加し、JABEE と CPD は一体の活動であるとの認識に立って、農業農村工学技術者の育成、継続的研鑽に力を注いできた。しかしながら、最近、大学改革等も関連し JABEE 活動に多様な課題があり、さらに日本技術士会との連携にも検討すべき事項があると考え、今回のシンポジウムを企画した」と挨拶された。

次に来賓として進藤金日子参議院議員にご挨拶をいただいた。進藤議員は「国会には 30 名からなる『与党技術士議員連盟』があり、私は事務局長を務めさせていただいているが、技術者育成には産・学・官の関係機関が連携をして取り組む必要があると認識している。産業界では各社を挙げて技術力向上活動に取り組まれているが、行政においても専門知識を備えた技術者集団として信頼されるよう各種資格の取得や CPD を通じた研鑽活動を職員に推奨、奨励している。技術の進化とともに少子化が進む中で農業農村整備を推進するため、技術者をどう育成していくかはきわめて重要な課題であり、JABEE と技術士の育成は第 6 期科学技術・イノベーション基本計画の Society 5.0 の実現に向けた教育・人材の育成に重要な役割を果たすと認識している。そのためにも、JABEE と日本技術士会が組織的な連携を図るとともに、根幹となる文部科学省内の所管から連携を図る必要があると考える」と発言された。

### 3. 講演

次に 5 名の方からテーマごとに講演発表を頂いた。

大村 仁氏(JABEE 理事)は「JABEE 現状報告」として JABEE 全体の認定プログラム数の減少や、JABEE 活動を支える賛助会員の減少などによって、2028 年度以降は JABEE 自体の事業継続が困難になると報告された。

凌 祥之氏(JABEE 認定プログラム認定審査委員会委員長)は、農業工学関連分野の 13 プログラムを対象に集計したアンケートから、崇高な理想に比べて低

#### 創立 20 周年記念シンポジウムプログラム

- |             |                                                               |
|-------------|---------------------------------------------------------------|
| 開会挨拶        | 農業農村工学会会長 平松和昭                                                |
| 来賓挨拶        | 与党技術士議員連盟事務局長<br>参議院議員 進藤金日子                                  |
| 講演①         | JABEE 現状報告<br>JABEE 理事 大村 仁                                   |
| 講演②         | JABEE の課題<br>JABEE 認定プログラム<br>認定審査委員会委員長 凌 祥之                 |
| 講演③         | 修習技術者のあり方<br>文部科学省技術士分科会委員<br>小林厚司                            |
| 講演④         | 新時代の農業農村工学技術者教育に<br>求められる関係団体の支援<br>土地改良測量設計技術協会<br>専務理事 本間素造 |
| 講演⑤         | 行政技術者に望むこと<br>農林水産省農村振興局<br>首席農業土木専門官 廣川正英                    |
| パネルディスカッション | 進行 農業農村工学会<br>専務理事 小泉 健                                       |

い認知と評価、努力が報われない葛藤、教員組織の分断の懸念など、プログラム内での問題を挙げ、文部科学省、JABEE、産業界への働きかけが重要であり、産・学・官を跨いだ議論の場が必要との認識を示された。

小林厚司氏（文部科学省技術士分科会委員）は、第10期技術士分科会で検討された技術士制度改革の方向性として、技術士制度の見直し、技術士試験の見直し、IPD（初期専門能力開発）システムの構築、CPD活動、総合技術管理部門の位置付けの明確化を挙げ、従来、企業や本人任せだった技術士IPDを制度化するために、産・学・官が連携協力する必要性を示された。

本間泰造氏（土地改良測量設計技術協会専務理事）は、近年農業土木技術者が不足して大規模災害対応や各種事業で支障が生じる傾向にあることから、同協会が運用する「農業土木技術管理士」と「農業用ため池管理保全技士」の資格試験において、1次試験免除や、JABEE履修期間を実務経験にカウントして早期に受験を可能としていることなど、JABEEプログラム（農業工学関連分野に限る）の修了生に優遇措置が講じられていることを説明された（【重要なお知らせ】参照）。

廣川正英氏（農林水産省農村振興局首席農業土木専門官）は、行政技術者は年代別に、入省時の「行政技術者としての自覚」から「人材を育てる」まで、多様なキャリアパスを経て、高い倫理観と専門知識を備えた技術者集団となる必要性を説いた。また、近年、国家公務員（農業農村工学）の採用実績において、JABEE修了生の採用割合が高くなっていることを示された。

#### 4. パネルディスカッション

シンポジウム後半は、各講演者がパネリストとなり、

JABEE認定大学やJABEEコース学生への多様な支援のあり方、またIT・脱炭素分野に関わる人材育成が求められる新時代の農業農村工学技術者育成のあり方などについてディスカッションを行った。JABEEと技術士制度がしっかりと連携して切れ目なく技術者を育成する新たな時代のあり方についても論及された。

#### 5. 閉会挨拶

閉会に当たり平松会長より「JABEEが存続してこそそのプログラム運営であり、JABEEの事業継続のために関係団体も支援をしてもらいたい。また、当初JABEE認定を受けるメリットであった教育改善の仕組みは、今やどの大学でも取り込まれ、認定メリットにはならなくなった。そこで大事なのが就職や資格試験の際のアドバンテージであり、関係団体の支援によってJABEE修了生自身がメリットを実感できることがJABEE認定を受けるメリットとなる。小林氏から報告された、社会全体で修習技術者の研鑽を支援するIPDシステムも認定メリットとして考えられ、研修プログラムを提供する部分で学会の役割も重要となる。さらに、本間氏からは土地改良測量設計技術協会の2資格でJABEE修了生が優遇されていること、廣川氏からは国家公務員の採用でJABEE修了生の割合が増加していることなどの報告を頂いた。今後はこのようなJABEEプログラムを運営する側の励みになる情報が、いち早くプログラム側に伝わるような仕組みも望まれる」と全体を通しての総括があり、技術者継続教育機構創立20周年記念シンポジウムを終了した。

本シンポジウムに関連した小特集を企画し、本誌第91巻第3号に掲載を予定しています。

### 【重要なお知らせ】

すでに学会誌などでは案内しておりますが、今回のシンポジウムで周知することの重要性が確認されたため、改めて、お知らせします。技術士以外にも、JABEE修了生を優遇している資格制度があります。

#### 土地改良測量設計技術協会が運用する資格試験におけるJABEE修了生への優遇措置

##### 農業土木技術管理士

- ・ 第1次試験（農業土木の応用・基礎・一般知識）を免除
- ・ 実務経験年数を3年間短縮

##### 農業用ため池管理保全技士

- ・ 実務経験年数特例として職域所属年数に置き換えられる

また、土地改良測量設計技術協会では、農業農村Webカレッジを設けており、受講可能な158の講座では、さまざまな技術分野をカバーしています。大学等で活用したい場合は、ぜひご相談ください。詳しくは、<https://www.sderd.or.jp/html2017/index.html>をご覧ください。